

2026

愛知県  
幸田町議会

4.27 発行



AIで作成 イメージ図

**特集** 議会広報誌 100～200号のあゆみ

◆ 令和8年度 一般会計予算 過去最大の 207億9000万円！

歳入での町税も 過去最大の 100億円超！！



幸田町議会HP

# ～200号のあゆみ

140号

132号

116号

100号

住民の声を聞く(132～172号)

町村議会広報  
全国コンクール  
**優良賞**



## あいらぶマイタウン開始

児童・生徒さんの文に牧野さんが  
毎回挿絵を描いてくれます



牧野さん

## オールカラーで見やすく

115号は2ページから2色  
116号よりオールカラーに



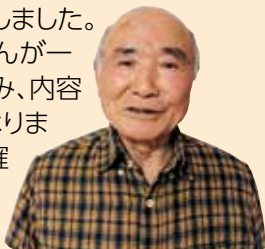
【主な特集】

【主な変化点】

【当時の表紙】

### いけだ ひさお 池田 久男さん

- ①女性の感性も生かして、写真を多く入れ、色づかいと見出しを工夫し街で町民の声を丁寧に伺い、親しまれる誌面を目指しました。
- ②現委員の皆さんが一生懸命取り組み、内容がぐっと良くなりました。広報は確実に変わってきています。



### すずき みつお 鈴木 三津男さん

- ①若さ溢れる幸田町議会を示すために、子どもたちの笑顔を中心に表紙を作成した。他の市町村と比べて遜色ない構成・企画をかんがえた。
- ②議会だよりは、議員のいのちと信じて、発行してください。



受賞した当時の  
議長・委員長さんに  
①当時の思い  
②今の議会広報と広報  
委員に対するお言葉  
をいただきました。



# 議会広報誌100号

200号

180号

174号

148号

144号

← タウンミーティング(180~188号)

## 広報こうたと区別

表示ロゴの変更

同コンクール  
**奨励賞**



## 町民の登場を増やす

表紙に組み写真も取り入れ



同コンクール  
**優良賞**



同コンクール  
**奨励賞**



## 原稿作成の今と昔



今：タブレット端末  
192号(令和7年4月)～



昔：鉛筆で手書き

効果：編集作業が4時間短縮



## おお だけ ひろし 大嶽 弘さん

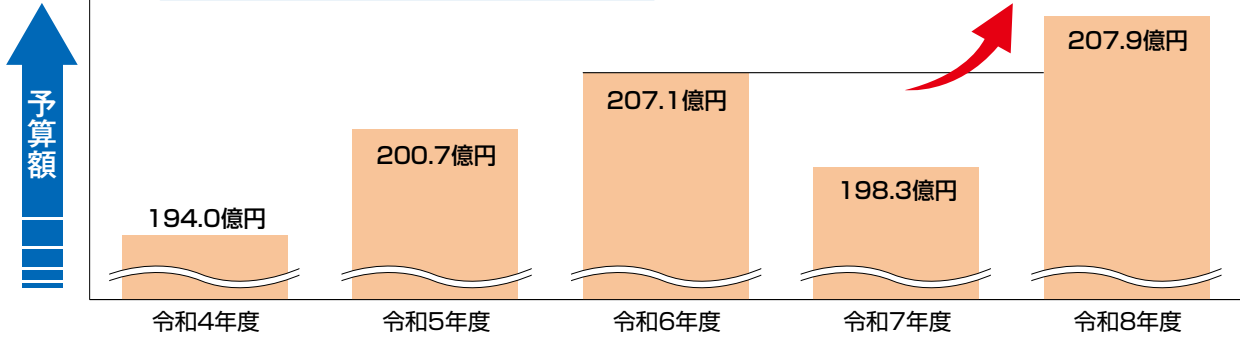
- ①「無事これ名馬」  
通巻200号は、名誉で名馬と感じます。当時、記事「見出し」の書き方を現役の新聞記者から学んだことを思い出します。
- ②今後は、AI時代の中、進化が楽しみです。



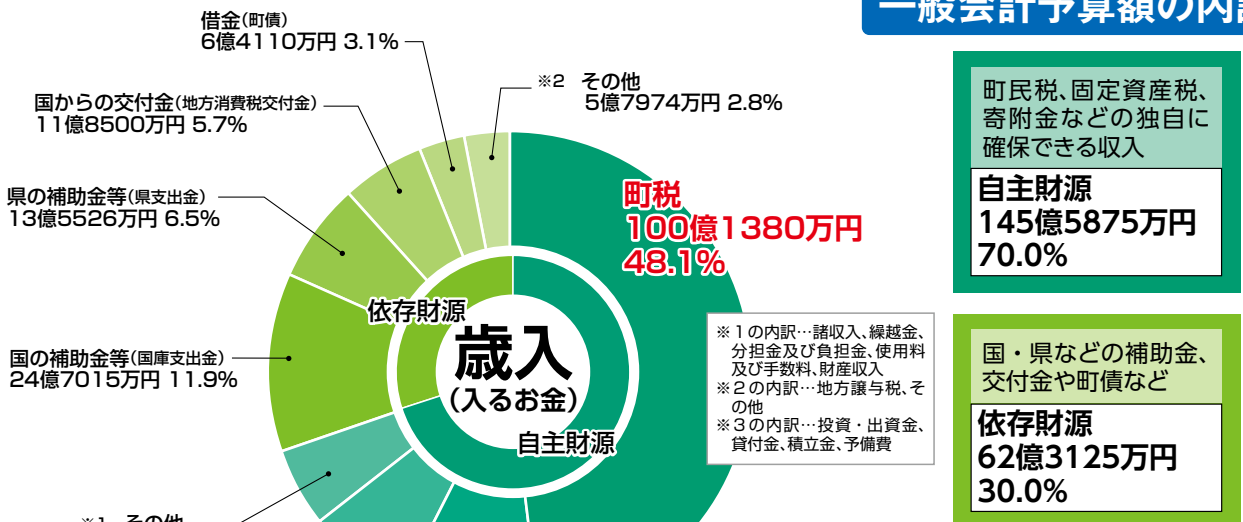
# 歳入での町税も 過去最大の100億円超!



## 一般会計当初予算額の推移



## 一般会計予算額の内訳

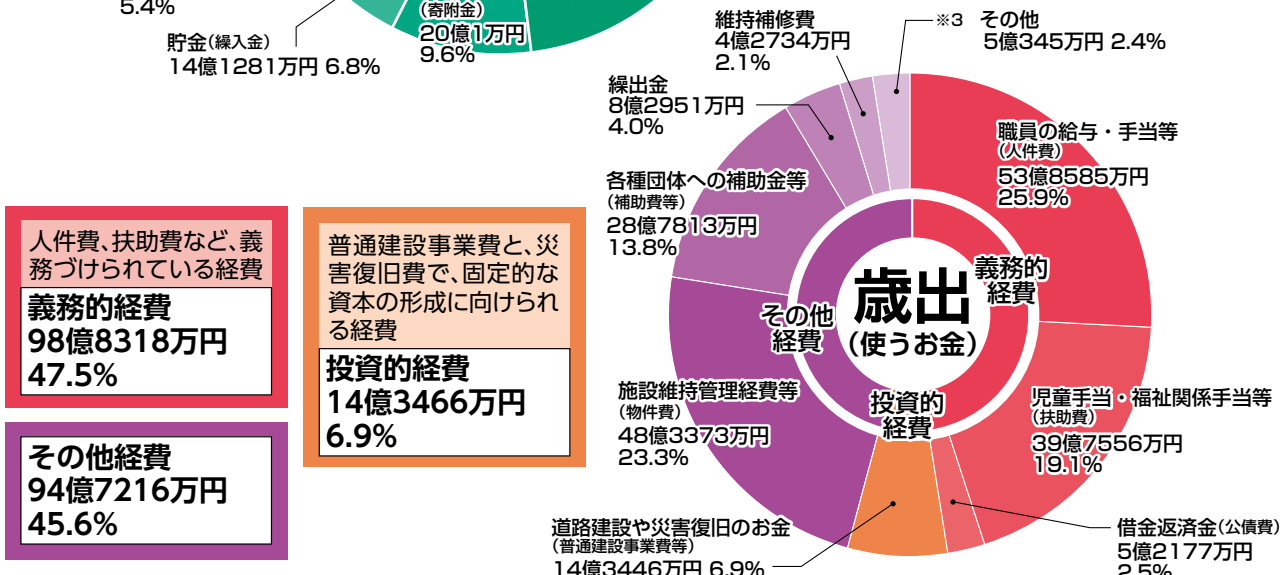


町民税、固定資産税、寄附金などの独自に確保できる収入

**自主財源**  
145億5875万円  
70.0%

国・県などの補助金、交付金や町債など

**依存財源**  
62億3125万円  
30.0%



人件費、扶助費など、義務づけられている経費

**義務的経費**  
98億8318万円  
47.5%

普通建設事業費と、災害復旧費で、固定的な資本の形成に向けられる経費

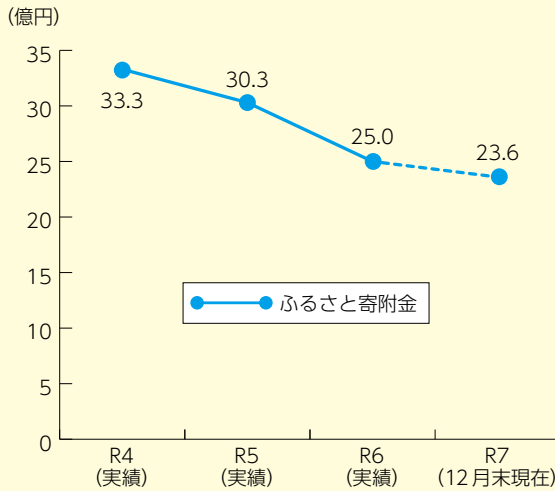
**投資的経費**  
14億3466万円  
6.9%

**その他経費**  
94億7216万円  
45.6%

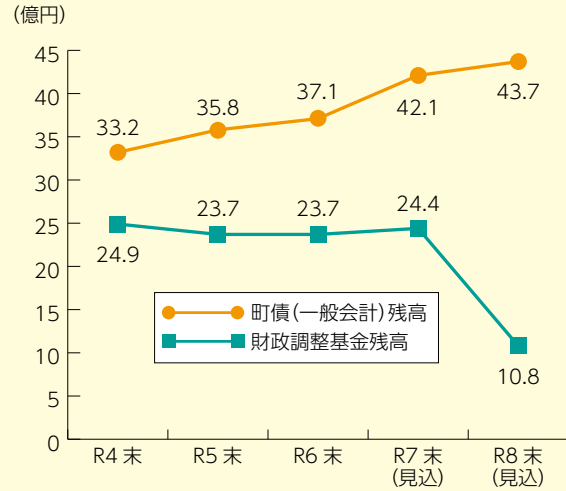
# 令和8年度 一般会計予算

## 過去最大の207億9000万円!

### ふるさと寄附金の推移



### 基金(貯金)残高・町債(借金)残高の推移



### 予算特別委員会での各会計別の当初予算と採決状況

会計区分	予算額	伸び率 (%)	採決の状況 (1人欠席)
一般会計	207億9000万円	4.8	賛成12：反対1で可決
特別会計	土地取得	▲97.1	全員賛成で可決
	国民健康保険	2.3	賛成12：反対1で可決
	後期高齢者医療	11.5	賛成12：反対1で可決
	介護保険	2.7	賛成12：反対1で可決
水道事業会計	収益的支出	4.8	全員賛成で可決
	資本的支出	2.6	
下水道事業会計	収益的支出	▲11.5	全員賛成で可決
	資本的支出	▲14.4	
合計	309億558万7000円	1.9	

※予算特別委員会は議長を除く15人で構成され、委員長は賛否に加わることができません。(賛否同数の場合は除く)  
 ※この後本会議で報告し、議決します。

新規事業や大型開発など取り組んできた結果、経常収支比率が上がり財政の硬化化を招いている。過去最大の予算規模は、財政調整基金の繰り入れや起債から成り立つ自転車操業で、財政破綻が危惧され改めるべき。「町民に応分の負担を」と使用料などの引き上げ検討は反対する。住民福祉の増進を進めるべきである。

丸山千代子議員

負担ではなく福祉の増進を



町民の幸福を守り抜く予算  
 松本 忠明議員  
 多様化する町民の皆さまのニーズに合わせるべく、あらゆる分野・世代にきめ細やかに配慮した予算である。物価や労務費の高騰が続く厳しい環境下にあっても、町民の幸福と地域の発展を守り抜くこととする本予算を力強く支持する。

議員がチェック  
しています!



# と注目事業

予算特別委員会では、当初予算議案について2日間にわたり審議し、多くの質疑、提案を行った。その中の主な質疑を報告する。

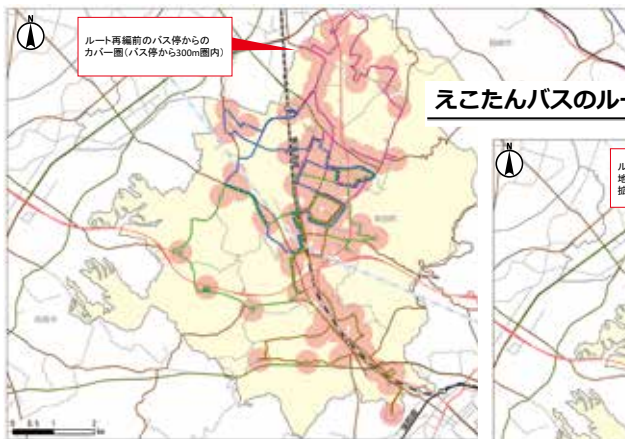
暮らしやすいまち  
〈安全・安心・快適〉

公共交通再編事業  
4834万円

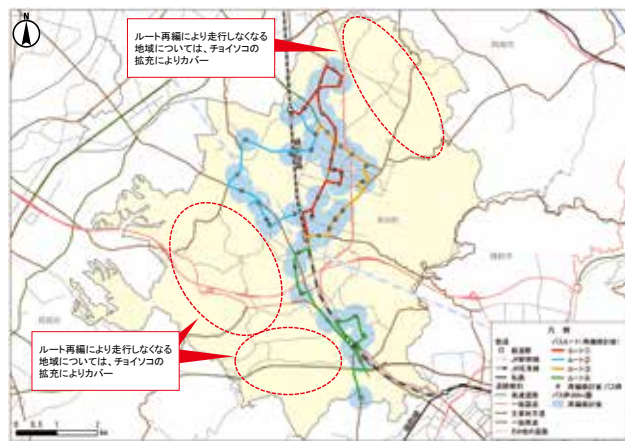
公共交通の効率化と利便性向上のため、10月以降に、えこたんバスルートの再編と、その補完でチョイソコこうした台数を3台に増やし、全町へ拡大すると同時に有償化を予定。利用者の増加見込みは。

当初は500人、以降は1000人ずつ目指したいが、チョイソコこうした有償化後に改めて定めたい。

## えこたんバスのルート再編前



## えこたんバスのルート再編案(再編後)



再編を評価する管理指標は、どのようにするのか。

公共交通会議で議論し、決めていく。

対象エリア



みどり豊かなまち  
〈自然環境〉

自然共生サイト

認定準備事務委託料

555万4000円

菱池遊水地周辺の、貴重な自然環境保全のため、国の自然共生サイト認定準備を行う。

認定のためのデータ収集に、住民参加型調査とあるが、どのようにやるのか。詳細の検討はこれから。

水辺で楽しむ環境整備の計画は。手つかずの自然を残す方向で人工物はあまり多く設けない。

生ごみ処理容器等設置費補助金

150万円

前年度の倍近い予算上の理由は。令和7年度は6月末で予算を使いきった。町民のニーズに対応のため増額した。

補助金予算増の生ごみ処理容器



補助金予算増の生ごみ処理容器

令和8年3月11,12日開催

# 予算特別委員会

令和8年度

# 予算審議



アニメでも魅力発信

活力とにぎわいの  
あるまち  
〈産業〉

幸田の魅力発信事業  
7248万7000円

ふるさと納税のPRとセットで、幸田町の特産品をPRする事業。  
**問** 事業の業務は、どのような内容か。  
**答** PRを積極的に行わないと寄附が獲得できない。  
広告やイベント手伝いの委託、特産品創出等の補助、幸田町の魅力や特産品のアンケート等が、主な内容である。

健やかに暮らせるまち  
〈健康・福祉〉

子育て短期支援事業  
101万4000円



こども家庭センターを設置する保健センター

保護者がこどもの養育が一時的に困難となった場合等に、児童養護施設等において一定期間、養育・保護を行う事業で、こども家庭センターが利用調整を行う。  
**問** 対象家庭の把握と周知は、どのようにするのか。

対象家庭の把握と周知は、どのようにするのか。

ホームページ等で  
の周知の他、こども  
家庭センターが支援  
を行うなかで、対象家  
庭の把握と情報提供を  
行う。  
**答**

難聴高齢者補聴器  
購入費助成事業  
135万円

身体障害者手帳の交付対象とならない50歳以上の難聴者に、補聴器購入費用の一部を助成する。  
**問** 年齢を引き下げた理由は。  
**答** 認知機能に影響してくる年代として、50歳とした。



助成対象者拡大の補聴器

誰もが学べるまち  
〈教育・文化〉

児童用トイレ工事  
設計委託等  
1584万円

小学校の児童用トイレの洋式化及び乾式化を、令和9年度～11年度で、2校ずつ進める。  
**問** 小学校の計画であるが、中学校の計画はあるのか。  
**答** 令和12年度以降、2年で実施していく予定。

小学校給食費無償化  
1億5352万  
4000円

「給食費負担軽減交付金」が創設され、国と県から2分の1ずつ、1人当たり月5200円が交付される。  
**問** 給食を食べない児童（不登校・アレルギー）で弁当持参などへの対応は。

近隣自治体の状況を  
確認し検討する。  
**答**

食材費高騰により、  
予算不足となった  
場合の対応は。  
**問**

超過分は、従来と同様に町費負担。  
**答**



いよいよ無償化の学校給食

## 持続可能な行財政運営

今後大型事業も進める上で、基金の積み上げと、起債も必要と思うが、財政運営をどう考えるか。  
**問**

特定目的基金を積むという姿勢で、財政運営に当たっている。また、必要な事業は、起債も活用していくことに努める。  
**答**

# 3月議会のあらまし

2月27日～3月25日

## 議案

全議案同意・可決

- 人事案件2件  
教育委員会教育長の任命（再任）  
・池田和博氏（岩堀区） 任期：令和8年4月1日から3年間  
教育委員会委員の任命  
・尾崎和久氏（桜坂区） 任期：令和8年4月1日から4年間
- 諮問1件 幸田町基本構想について
- 条例の制定2件 幸田町土砂等の埋立て等の規制に関する条例の制定 など ⇨ 下記参照
- 条例の一部改正8件 幸田町職員の給与に関する条例の一部改正について など
- 町道路線の認定及び廃止について
- 補正予算関係5件 令和7年度幸田町一般会計補正予算（第6号） ⇨ 9ページ参照
- 当初予算関係7件 令和8年度幸田町一般会計予算 ⇨ 4～7ページ参照

## ◆最終日の追加議案◆

- 議員提出議案1件 議員報酬及び期末手当の減額に関する条例 ⇨ 9ページ参照
- 条例の一部改正2件 幸田町国民健康保険税条例の一部改正について など
- 補正予算関係2件 令和7年度幸田町一般会計補正予算（第7号） など

## 陳情

陳情1件を審議し、趣旨採択とした。

趣旨採択



## 一般質問

6人の議員が町政全般にわたる課題をただした。 ⇨ 10～13ページ参照



## 土砂の埋立て等には 土壌汚染防止の規制がされます!

### 幸田町土砂等の埋立て等の規制に関する条例の制定

**問** 規制対象となる面積は？

**答** 原則、事業面積が1000㎡以上となる特定事業が対象。

**問** どうして規制するの？

**答** 責任の所在を明らかにし、土壌汚染を未然に防止するため。



## 町長施政方針

町長 成瀬 敦

幸田町においては、景気は緩やかに回復が続いている状況ではありますが、町税は100億円を超える予算規模としながらも、生活関連物価の高騰、扶助費等の社会保障費や人件費の増など、引き続き厳しい財政状況におかれています。

令和8年度当初予算は、「もっと輝く幸田を、みんなで」をテーマに掲げて編成しました。小中学校GIGAタブレット端末更新、町内各施設における長寿命化工事、災害対応特殊救急自動車購入、などを実施してまいります。  
経済情勢の変化やまちの課題を見据え、暮らしやすいまちづくりを引き続き進めるととし、第7次幸田町総合計画における基本目標と持続可能な行財政運営を中心に、「もっと輝く幸田を、みんなで」の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。



# 補正予算



## ※補正予算とは

当初予算の成立後に新しく組まれる予算です。自然災害や社会情勢の変化で新しい予算が必要な場合に追加されます。

## 小学校トイレ洋式化に向けて動き出します!



児童用トイレ洋式化  
工事実施設計等委託料  
(幸田小、中央小)

**1584万円**

**問** 小学校トイレ洋式化  
100%になるのか。

**答** 教室等のトイレは洋式化  
100%を目指す。全小中  
学校を順に洋式化・乾式  
化する。

## 議員提出議案

### 議員報酬及び期末手当の減額に関する条例



#### 【議員報酬の減額】

議会の議員がその職責を果たすことができない場合の議員報酬等の支給について条例を定める。議員が議会の会議を長期間欠席した場合、議員報酬は以下の割合を乗じて得た額とする。

#### 連続欠席の場合

- ①91日以上180日以下 …… 80%
- ②181日以上365日以下 …… 70%
- ③366日以上 …………… 50%



8番 石原 昇 議員  
議会運営委員会副委員長の趣旨説明

賛否の分かれた議案等	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	議長	議決結果 (賛成:反対)
	議員名	藤本 和美	吉本 智明	野坂 純子	松本 忠明	長谷川 進	岩本 知帆	田境 毅	石原 昇	鈴木 久夫	黒木 一	藤江 徹	稲吉 照夫	笹野 康男	丸山 千代子	都築 幸夫	廣野 房男	
第12号議案	幸田町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	—	可決 (13:1)
第21号議案	令和8年度幸田町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	—	可決 (13:1)
第23号議案	令和8年度幸田町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	—	可決 (13:1)
第24号議案	令和8年度幸田町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	—	可決 (13:1)
第25号議案	令和8年度幸田町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	—	可決 (13:1)
第28号議案	幸田町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	—	可決 (13:1)
第29号議案	幸田町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	—	可決 (13:1)
陳情第1号	東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	—	趣旨採択 (13:1)

※議長は賛否に加わるできません。ただし、賛否同数の場合は、可決・否決を決めることができます。

# 一般質問

# 6議員が提案 町政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



## 議会傍聴記

どう変わる？

幸田町の公共交通



さかきばら かつよ  
榊原 勝代さん

初めての議会傍聴で緊張しました。高齢者の足である「えこたんバス」と「チヨイソコこうた」についてこまやかな質問と丁寧な答弁に感心しました。不安なく利用できるシステムを考えていただけよう期待します。

町民目線で考える  
移動のしやすさと安全



いむら けいすけ  
今村 敬介さん

町民の移動のしやすさと安全性について考える機会となった。

課題の背景には、日常の中で感じる小さな不便や不安の積み重ねがあると感じた。環境を一体とした取り組みに期待したい。

議会だよりでは、質問と答弁（各30分以内）を要約してお伝えします。詳しい内容は、会議録を幸田町立図書館で閲覧いただけるほか、幸田町議会ホームページでも公開しています。また、議会の映像はYouTubeで配信しています。



議会映像



過去の議事録



いわもと ちほ 岩本 知帆 議員

## 防災キャンプで得られた課題は



映像

## 人材育成とトイレ対策推進



**問** 防災キャンプ実施で得られた課題は、危機管理監▼人材育成が一番重要。災害時トイレ問題に1層対策推進が必要である。

**答** 防災キャンプ実施で得られた課題は、危機管理監▼人材育成が一番重要。災害時トイレ問題に1層対策推進が必要である。

**病児保育の受け皿は**

**課題が多く実施は難しい**

**問** 働く子育て世代を支える緊急支援の空白をどう埋めるか、病児・病後児保育の受け皿と課題分析は。

**答** 住民こども部長▼病後児保育のみ実施。病児保育のニーズは認識しているが、課題が多く実施は難しい。



地区防災訓練で実践練習を行う住民(大草区)

**問** 民間連携の登録制シッター派遣など、段階的導入の方向性は、民間活用は有効だが、導入予定はな

**答** 民間活用は有効だが、導入予定はなく、研究課題とする。

**問** 役場一階にキッズスペースの簡易版を試行する考えは。

**答** 企画部長▼有効な手段と考えられるが、課題は多く慎重にならざるを得ない。気持ちに寄り添えるよう子ども用椅子を窓口に備えるなど検討。

**問** 育休カバーが報われる制度導入の考えは

**育休カバーが報われる制度導入の考えは**

**先進事例を参考に研究**

## チョイソコこうたの年齢制限は



映像

## 登録制で年齢制限は設けない



令和8年10月から新たな公共交通体系がスタートする。町民の足として、高齢者の活動の支援として、大いに期待される。

**問** えこたんバスは30分で1周と間々が、路線数はどうなるか。

**答** 企画部長▼4路線で、各路線1日12便の運行。

**問** チョイソコこうたの利用年齢の制限、利用者登録するのか。

**答** 年齢制限は設けないが、個人登録となる。

**問** 申し込みの方法は。

**答** 会員登録申込書を郵送し会員証を受け取った後に利用可能予約はインターネットまたは電話で対応する。

**問** 運行時間は。

**答** 午前9時から午後4時まで。

**問** チョイソコこうたの有料化の考えは。

**答** 利用料を頂くことを考えている。

**問** 停留所の設置基準は。

**答** 住宅地・公共施設・事業者停留所を予定。概ね150mは離れるよう設けたい。

**問** 福祉・高齢者・妊産婦タクシー利用は変わりなく使えるか。

**答** 健康福祉部長▼利用方法や助成内容に変わりはない。



運用見直すチョイソコ



映像



# 公共施設に対して今後の省エネ計画は



野坂 純子 議員

## 太陽光発電や蓄電池の同時設置も検討



年々増加している3歳未満の子どもたち

**本町の未来のために期待する施策（子育て・若者支援のさらなる前進、高齢者の移動支援と地域福祉の強化、コンパクトなまちづくりと公共施設の利便性向上、SDGs 未来都市としての環境）などを問う。**

**問** 保育園と放課後児童クラブの受け皿拡充の現状と今後は。

**答** 住民こども部長▼  
0歳児は横ばい、1歳児及び2歳児は増加傾向、3歳児以上は減少傾向。クラブは、令和9年度をピークに減少見込み。今後は、



太陽光発電と蓄電池を備えた公共施設

学校では全児童を対象に防災教育を継続

小学校クラブ活動に防災クラブの導入を

**答** 環境経済部長▼太陽光発電システムの導入に合わせて、蓄電池の同時設置も検討事項として行く。

**問** SDGs 未来都市として、公共施設に対して今後の省エネ計画は。

定員調整や運営の工夫で、受け皿の確保に努めていきたい。



映像



# 子どものインフルエンザワクチン助成を



丸山 千代子 議員

## 任意接種であり慎重に検討したい

インフルエンザの流行で患者数が増加し学級閉鎖が相次いでいる。

**問** 学級閉鎖数と患者数、入院の人数は。

**答** 教育部長▼学級閉鎖は62クラス、609人。入院は小学校5人、中学校1人。

日本感染症学会は、インフルエンザワクチンの接種は発症防止効果があり、積極的な接種を呼びかけている。

**問** すべての子どもにインフルエンザワクチン接種の助成を。

**答** 健康保健担当参事▼対象者の3割の接種率で約468万円になる。任意接種であり、もう少し慎重に検討したい。



ワクチン接種を受ける子どものイメージ

小中学校同時に学校給食費の無償化を

国の流れに従い次年度以降に取り組み

高齢男性が参加できる居場所づくりを

男塾などニーズを踏まえ取り組みたい



ふじもと かずみ  
藤本 和美 議員

## 投票所入場券のない人には身分証明書を



映像

## 全国のなりすましや不正を踏まえ考える



問 昨年の参議院選挙は、他人になりすまして投票するなどの詐欺投票が最多の24人。厳正で公正な投票所運営が求められる。

問 投票所入場券を持参しない人の本人確認方法は、

答 総務部長▼生年月日、住所氏名等の本人申し立てと、選挙人名簿の対照を行う。名簿と本人自身を見比べ、性別、年齢的にも一致するかどうかをよく確かめる。

問 身分証明書の提示を求めただけでも、不正の抑止力になり、求めている自治体もある。今後、投票所入場券を持参しない場合、身分証明書を求めるか、

答 不正が全国各地で確認されていることを踏まえ、近隣市と情報交換をしながら考えたい。

問 開票作業の参観の周知は、

答 今はしていない。ホームページで参観できる人、場所、開始の時間等の周知をしたい。

中学生の自主練習に  
学校施設の利用を

申請・登録で部活動  
以外の時間に開放

## 交通ポータル整備し情報一元化を



映像

## 迷わない公共交通となるよう努める



問 駅、えこたんバス、徒歩、通学路、自転車、医療アクセス、情報発信を、ひと繋がりの方策として提案する。

問 駅東側動線で仮設対策を短期施行し、前後比較で効果検証を、

答 建設部長▼比較評価は有効。まず現地調査を実施し、得られた材料を基に分析等に繋げたい。

問 駐輪場・送迎・横断線を含め、駅構内と駅前広場を一体で最適化できないか。

答 駅周辺全体を一体で見直し、道路・ロータリー・駐輪場など全施設の機能や安全性を再検討する必要があるが、課題も多い。

問 交通ポータルを整備し、LINE連

答 企画部長▼各所管で変更履歴管理し、異動時の引継ぎと研修を重ね、強い運用体制を整える。

公共交通情報の一元的な提供など、迷わない公共交通となるよう努める。



多くの人が行き交う朝の幸田駅前広場

## 総務教育委員会協議会 2月10日

### 幸田町地域公共交通の再編を進める



町民の足となるえこたん・チョイソク

「えこたんバス」の停留所を半減し、3駅周辺や人口集中地を走るコンパクトなルートに再編する。再編地区外は、デマンド型（予約制）の送迎車「チョイソクこうた」を拡充し、役割を分けた交通網を構築する。

**問** ルート便数と所要時間は。

**答** 12便で30分以内運行。最終便は小学生が下校で乗車。

**問** 将来、運賃は今までどおり無料か。

**答** えこたんは無料、チョイソクは有償化を検討する。



庁舎西口受付

窓口受付時間短縮について



限られた人員で行政機能を維持し、住民サービスと業務の生産性向上（改善）を図る。

※令和8年7月開始

（窓口時間 午前9時から午後4時）

**問** 庁舎は今までどおり入れるのか。

**答** 時間外は西口受付から出入り可能。（その他8項目を協議）

## 総務教育委員会管内視察 1月15日

### 施設工事の進捗を視察



●荻谷小学校体育館空調設備

近年の猛暑による、体育館内での熱中症が危惧され、児童の安全な快適環境を確保することで、災害時避難所としても重要視される。

工事概要と今後の課題  
・体育館空調設備は、12基設置

・令和8年3月下旬には、工事完了予定  
・ファーストミッションボックス要領に、空調設備の取り扱いを記載。

**問** 災害時の暗闇でも、電源の見える化を。

**答** 電源高さ・蛍光色等を検討する。



説明を聞く委員

●本光寺肖影堂改修

令和元年度から文化財の価値を後世に継承するため、損傷を復元し、安全確保を進めた。令和8年度は、防災設備工事・工事監理・環境整備・修復後の評価を計画。

**問** 昔の建築技術を知って修復するのか。

**答** 関係者で協議しての修復が多い。



本光寺肖影堂改修現場

# 総務教育委員会行政視察 1月29日～30日



## 教員の働き方改革などを学ぶ

1月29日

静岡県吉田町

●リーディング

DXスクール事業

全町教員が、クラウドにアクセスできる環境を整備し、チャット（雑談会議）を利用した、他校との情報共有を図っている。

全町の学校で取り組む研修会が展開され、子供たちの情報交換も進み、自主DX学習が拡充している。

☆感想

熱意ある女性教員を、



先進DX推進説明を聞く



DXを学ぶ児童

教育委員会へ派遣し学校DX推進アドバイザーとしての任務と、文科省研修派遣など、行政の意欲を感じた。

静岡県静岡市

●部活動の地域移行

少子化に伴う部員数、部活動数の減少により、地域クラブ活動に転換実証をしてきた。

指導者不足が課題となり、子供たちの希望調査で、スポーツ・文化芸術の要望から、地域人材ネットワークを推進し、企業・実業団に協力要請を実施中。

☆感想

部活動現場を熟知した教員を、市総合教育係に派遣し、市議会・行政・地域一体活動の総括役として、新しい地域クラブ活動への取り組みは、幸田町も先進事例を参考にし、新たな施策を期待したい。



先進部活動事業を学ぶ

1月30日

静岡県富士市

●防災アプリ「防災ふじ」について

市全ての防災情報が分かる、防災アプリを作り令和5年11月1日より配信開始。

☆感想

平時から災害時まで活躍する機能を搭載し、情報が自動的に届く。(プッシュ通知) 全ての人に適応は難しいため、地域防災役員と連携で、自助・共助・公助を強化する。

全国で防災情報のデジタル化が展開中で、富士市も防災アプリ「防災ふじ」事業に力を入れていますが、課題は全員に活用が困難。幸田町も自助・共助・公助を強化し、デジタルと併用した情報発信が重要と感じた。

安否確認ツール



アナログ・デジタル



住民はLINE上で安否情報を入力・発信

静岡県静岡市

●静岡県地震防災センター（施設見学）

地震の歴史・揺れ原理・地震対策・地震体験で学習した。

☆感想

震度7の体感訓練では、人は無力であることを痛感した。



地震体感場

◎視察総合評価

今回は、教員の働き方改革に繋がる事業と防災学習・体験で、本町にも活かす内容も多く、委員から高い評価を得た。

# 福祉産業建設委員会協議会 2月9日

## こども家庭センターの 運用開始



開設したこども家庭センター

**問** 他課との連携はどのように行うか。  
**答** センターで聞き取り関係課へ繋ぐ。

**問** 専門職員確保の目的は立っているか。  
**答** 広報で募集し、採用の目途は立った。

こども家庭センターは、全ての妊産婦、子育て世帯、子供に対し、母子保健・児童福祉の両機能が一体的に相談支援を行う機関。  
運用開始  
令和8年4月1日  
設置場所  
幸田町保健センター  
2階



逆川広場イメージ

**問** 他地区への広場整備を考えるのか。  
**答** 町内で複数個所の整備を計画したい。(その他の項目を協議)

**問** 駐車場など考え、良い広場計画を。  
**答** 広場を確保し、駐車場は近隣へ計画。

森林サービス産業で逆川広場を整備  
森林空間が持つリラククス効果や免疫力向上効果など活用し、森林浴、ヨガなど健康イベントや、地元材バーベキューなど食を通して心身の健康づくりの場とする。

# 福祉産業建設委員会管内視察 2月12日

## 広田川・相見川合流部 多自然川づくりなど学ぶ



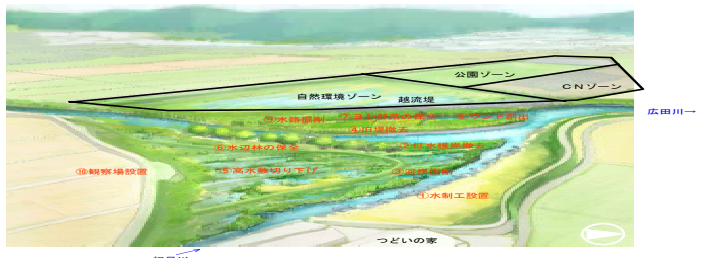
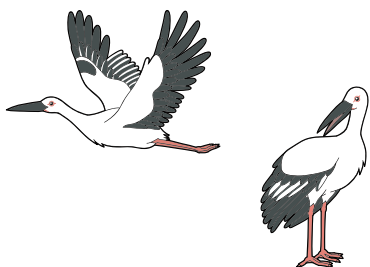
整備の説明を受ける

(その他3か所視察)  
環境を未来につなげる。  
再生した多様な生物が生息する良好な自然環境を未来につなげる。

・目指す姿  
河道整備をきっかけに、菱池として湿地を形成してきた歴史を踏まえ、湿性植生の保全再生した多様な生物が生息する良好な自然環境を未来につなげる。

- 広田川多自然川づくり検討会
- ・ 令和6年度3回実施
- ・ 構成メンバー  
有識者、愛知県、幸田町、コンサル

菱池遊水地整備に伴う河道整備をきっかけに、合流部の6haもの広大な三角地の活用を考えることとなった。



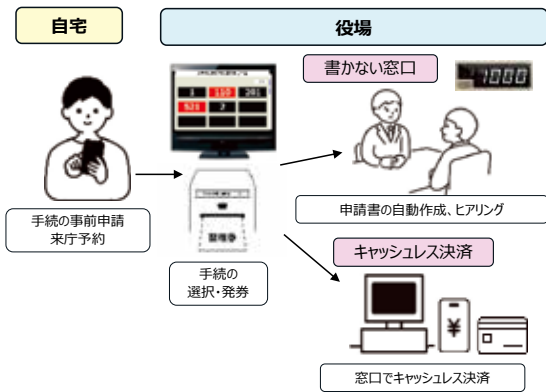
整備イメージ

# D X 推進特別委員会協議会 2月16日

## スマート窓口推進へ 書かない・待たない・まよわない



スマート窓口（書かない・待たない・迷わない窓口）推進事業



※当初の目的を達成したため、3月25日をもって  
両特別委員会を廃止した。

- 令和8年1月、国が定めた標準化システムを導入した。今後、行政手続きのオンライン化や書かない窓口など行政サービスのデジタル化を進める。
- 問** 役場1階窓口の混雑解消方法は。
- 答** 発券機を設置し、窓口手続き状況を明確化する。
- 問** 職員が働きやすいスペース確保が必ずでは。
- 答** 電子回覧板の導入目的は、平常時・災害時ともに情報の共有化ができる。
- 問** 町営駐車場の料金支払いをキャッシュレスにできないか。
- 答** 検討している。
- 問** 書かない窓口設置において、改修が必要と考えている。
- 答** 町営駐車場の料金支払いをキャッシュレスにできないか。

# 第7次総合計画策定特別委員会協議会 2月16日

## 第7次総合計画最終案 示される



- 最終案については、本編と概要版で構成
- ・ 計画期間 2026年度から2035年度の10年間。
  - ・ まちづくりの理念 人と自然と産業の調和
  - ・ まちづくりの将来像 もっと輝く幸田を、みんなであつ
  - 未来につながる活力ある緑住文化都市
- 2月開催の総合計画審議会で、パブリックコメントを反映した案
- 問** 10年計画の進捗管理、見える化を。
- 答** 実施計画の中で、進捗状況など示す。
- 問** 計画で示したこと、特に人口減少に対する取り組み実施を。
- 答** 人口対策は重要で住民が満足する各種施策に取り組む。
- を協議、諮問・答申を行い、3月議会に議案上程。

# 議員研修会 「議員のためのコンプライアンス研修」 を実施



得られた気づきで自らを振り返る

2月5日、第2委員会室にて議員コンプライアンス研修を開催。

講師には弁護士の方（佐直美（ちようさなのみ））先生をお迎えし、議員が日常の活動で特に注意すべき法令や倫理について学んだ。

## 【主な研修内容】

● 議員に求められる倫理観と行動規範

選挙で選ばれた「良識の人」として、住民の模範となる行動が求められることを再確認した。

● 議場での発言への注意

地方自治法に基づき、無礼な言葉や他人の私生活にわたる言論が禁止されていること、公の場での発言には大きな責任が伴うことを学んだ。

● SNSの適切な利用

写真の扱い・個人情報保護の保護・著作権、名誉毀損に関する注意など、便利さとリスクの両面を理解し、情報発信のあり方を考えた。

● ハラスメント防止

職場や地域活動における言動が、相手の尊厳を損なわないよう、議会としても一層の配慮が必要であることを共有した。

## 【研修を通じて】

議会として、住民の皆さまから信頼される活動を行うため、法令順守と倫理的な行動は欠かせない。今回の研修を踏まえ、議員一人ひとりがより適切な議会活動に努める。

## 箕輪町議会が視察

1月15日、長野県箕輪町議会が来町され、本町事業全般を視察された。幸田町議会からは議長と副議長、議会広報取材担当者の3人に対応した。

企画部を中心に幸田町の事業全般を説明し、理解を得た。

議会として、互いの町の発展につながる良好な関係を築いていく。



学びを得ようとする真剣な皆さん

# あの一般質問は どうなったの？

その後  
追跡



とぼねグラウンド改修の様子

●令和5年6月議会

稲吉照夫議員

## グラウンドの整備を

**問** とぼねグラウンドは、全体的に石が表面に出てきているが、改修の計画は。

**答** 利用者からの報告で知っている。利用者の安全は最優先。改修を考えたい。

その後

令和6年度に土入れ工事を行い、本来の形に戻ったことで利用者の安全性が向上した。

●令和5年6月議会

岩本知帆議員

## 避難所開設セットの周知を

**問** 誰でも対応できる避難所開設スタートセットの設置は。

**答** 各コミュニティへの設置を検討中。防災研修会や地区の防災訓練等で説明し、周知する。

その後



避難所開設の講習

令和6年度に避難所を開設するための手順書を検討。7年度にファーストミッションボックスの資機材整備をするとともに、訓練を実施した。

●令和6年6月議会

野坂純子議員

## 熱中症に万全な対策を

**問** クーリングシェルター設置の考えは。

**答** 町内の公共施設のうち数カ所を指定する方向で検討している。

その後

令和6年夏から設置され、現在17の施設を指定している。指定した施設には目印として入口にポスターを貼付している。

●令和5年12月議会

田境毅議員

●令和7年12月議会

藤本和美議員

## 職員採用試験時期の最適化を

**問** 採用試験を早める予定や考えは。

**答** 大卒、短大卒向けの一次試験を、少し前倒して実施することを検討。

その後

令和8年度の大卒・短大卒の職員採用試験は、約1カ月前倒して実施予定。



クーリングシェルターの目印の旗



# あい・らぶ・マイタウン

I Love KOTA.

## 思いやりあふれる 幸田町

豊坂小学校6年  
いなよし えいと  
稲吉 永翔さん



ぼくの通学路では、鈴木化学工業所の方が暑い夏に水を用意してくれます。一時間近く歩いて帰るぼくにとって、その水はまさに命の水です。また、低学年の子が転んだ時、地域の方がすぐに声をかけて手当てをしてくれました。他にも、見守り隊の方などが安全な通学のためにぼくたちを見守ってくれています。

幸田町はやさしさと思いやりにあふれた町です。ぼくも大人になったら、だれかを助けたり、力になったりできる人になりたいです。

これからもこの幸せな町「幸田町」を大切にしていきたいです。



## 自然あふれる すてきな町に

中央小学校6年  
いいしましゅか  
飯島 萩花さん



わたしが町長になったら、自然あふれるすてきな町にしたいです。「自然の日」や「森の日」などを作って、町の人全員で幸田町に花や木のなえなどを植えたり、幸田町に大きなお花畑を作ったり、桜祭りやもみじ祭りができる場所を作ったりしたいです。それから、しばふがあるドッグランやグラウンド、農業のための広い田んぼや畑なども作りたいです。それらをながめられる場所に幸田町らしい雰囲気合った家を見て、自然を楽しむ町にしたいです。



挿絵：<sup>まきのつぎお</sup>牧野次男さん（芦谷）

### 議会広報特別委員会

委員長 岩本 知帆

副委員長 長谷川 進

委員 藤江 徹 田境 毅 松本 忠明  
野坂 純子 吉本 智明 藤本 和美

### 幸田町議会だより No.200 2026.4.27発行

発行・編集 ● 幸田町議会 議会広報特別委員会  
発行責任者 ● 議長 廣野 房男  
〒444-0192 愛知県額田郡幸田町大字菱池字元林1番地1  
TEL (0564) 63-5151 FAX (0564) 63-6970  
Eメール gikai@town.kota.lg.jp  
幸田町ホームページ <https://www.town.kota.lg.jp/>

## 議会を傍聴してみませんか

【場所】 役場5階 【時間】 午前9時から

### 【6月定例会の予定】

- 6月 3日 (水) 開会、議案の説明
- 5日 (金) 一般質問
- 9日 (火) 一般質問
- 15日 (月) 一般質問
- 17日 (水) 議案の質疑
- 18日 (木) 福祉産業建設委員会  
総務教育委員会
- 22日 (月) 議会運営委員会
- 24日 (水) 討論、採決、閉会

日程は変更される可能性があります。一般質問などは、幸田町議会ホームページで随時公開していきますので、ぜひご覧ください。

詳しくは議会事務局へ TEL63-5151 (直通)